

法人（事業所）理念		地域とつながり役割を持ち、その人が望む輝く場所をともに創造する。					
支援方針		1, 子ども達の可能性を引き出し、一人ひとりに寄り添った支援を大切にします。 2, 得意なことを伸ばし、日々の「できた」を積み重ね、自信につなげていきます。 3, 地域とつながり、心も身体も逞しく育てていきます。 4, 保護者の方々と一緒に、お子様の成長を見守り支援していきます。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり なし
5領域		ねらい		具体的な活動の一例			
本人支援	健康・生活	①心身の状態の把握、改善 ②生活リズムや生活習慣の形成、安定 ③基本的な生活スキルの獲得と応用		①下校時の心身の状態の把握や到着時の検温。 ②手洗いうがいの促し。アレルギーの把握。姿勢保持の促しや補助具の活用。 ③食事動作の助言と咀嚼状態の見守り。排せつ動作の支援。気温や体調に合わせた衣服の調整への促し。 活動に集中しやすい環境づくり（構造化）。困ったときの伝え方の助言と見守り。避難訓練。送迎時における安全確認の促し。			
	運動・感覚	①姿勢と運動・動作の基本的技能の向上と補助的手段の活用 ②移動能力の向上 ③感覚の把握と活用		①粗大運動（大根抜き、そり遊びなど）。微細運動（折り紙、手芸など）。 ②町内探検。JR乗車体験。スノーシューなど。 ③視覚（宝探し、間違い探しなど）。聴覚（椅子取りゲーム、ヨガマット太鼓など）。触覚（スライム、手探り遊びなど）。嗅覚（調理、葉っぱ染めなど）。固有覚（大根抜き、草取りなど）。前庭覚（スラックライン、トランポリンなど）。必要に応じた眼鏡等の使用を促す。			
	認知・行動	①認知特性の理解と対応 ②色、音、形、数量、重さ、空間、時間等の概念形成と行動の習得 ③行動障害の予防		①感覚刺激の量の調整（行間や対象物の量の加減など、見やすさ、聞き取りやすさに配慮した集中しやすい環境設定） ②色（色オニ、絵の具遊びなど）。音（音当てクイズ、音量の数量化など）。形（工作、片付けなど）。数量（ボウリング、トランプなど）。重さ（スプーンリレーなど）。空間（かくれんぼなど）。時間（当日のタイムテーブルの確認など）。 ③気持ちの安定を促す環境設定。			
	言語 コミュニケーション	①コミュニケーション能力の向上や様々な手段の活用 ②言語の理解と表出 ③読み書き能力の向上		①ことば遊び（しりとり、伝言ゲーム、仲間集め絵本の読み聞かせなど）。わらべ歌遊び（花いちもんめ、かごめなど）。ごっこ遊び、ゼスチャーゲーム など ②お話づくり、一言インタビュー。クイズ、宿題の見守りと助言。生活場面で必要な発話の見守りとモデルの提示 など ③カルタ、迷路、点なぞり、製作物への記名 など			
	人間関係 社会性	①アタッチメント（愛着）の形成と情緒の安定 ②遊びを通じた社会性の発達 ③自己の理解と行動の調整 など		①互いを尊重し「～さん」付けで呼び合うなど、安心できる環境づくり。出来ていること、頑張っていることをその都度ことばで伝える。手伝い活動など。 ②集団遊びでのルール理解や、応援、励ましの経験。地域資源（図書館、科学館など）の活用。 ③プライベートゾーンや人権意識に関する絵本の活用。困ったときの対処の仕方を伝え、段階に応じてサポートする。			
家族支援		・ 日常的にお子様の様子や困り感などを共有するとともに、半年毎に面談を実施し相談支援を行う。また、子育てサロンや講演会などを開催し、お互いの悩みや心配事を共有出来る場を設ける。			移行支援		・ 子ども達が、地域の中で顔見知りを増やすことができるよう、各機関と連携を図ったり、公共施設等を利用する機会を増やしていく。
地域支援・地域連携		・ 相談支援事業所、発達支援センター、学校、他事業所等との情報共有と連携を図りながら支援を行う。			職員の質の向上		・ 外部研修への積極的な参加と、毎月1回の内部研修にて発達及び発達特性の理解や支援方法を学び、職員のスキルアップを図る。
主な行事等		・ 地域交流（周辺道路等のごみ拾い、小規模多機能施設との草取り、スイカ割り、流しソーメン等） ・ 外出行事（サイバル、町内イベント、近隣公園、JR乗車等での様々な体験） ・ 食育（畑づくり、苗植え、手入れ、収穫、買い物、調理、後片付け） ・ 季節の行事（七夕、クリスマス、年末年始、節分、ひな祭り、こどもの日など）に応じた活動の取り組み					

全ての活動は複数の領域に重なり合っています。